



学术写作与研究方法 アカデミック・ライティング

第二部 論文の文体と表現

劉 偉 (liuw@m.scnu.edu.cn)



主要内容

1. 論文の文体
 2. 課題の提示
 3. 目的の提示
 4. 定義と分類
 5. 図表の提示
 6. 変化の形容
 7. 対比と比較
 8. 原因の考察
 9. 列挙
 10. 引用
 11. 同意と反論
 12. 帰結
 13. 結論の提示
- 序論
- 本論
- 結論





1. 論文の文体

・クイズ

レポートや論文ろんぶんでよく使うのは、aとbのどちらでしょうか。

- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1) a. ある | b. あります | 2) a. わからない | b. 不明 <small>ふめい</small> である |
| 3) a. できる | b. 可能 <small>かのう</small> である | 4) a. 少し増えた <small>ふ</small> | b. わずかに増えた |
| 5) a. 本報告 <small>ほんほうこく</small> | b. この報告 | 6) a. でも | b. しかし |
| 7) a. これまで | b. 今まで | 8) a. 山田 <small>やまだ</small> | b. 山田先生 |



学術的な文章の文体

調べます。
見られません。
考えましょう。
この点が問題です。

検討が必要です。



調べる。
見られない。
考えよう。
この点が問題だ。/この
点が問題である。
検討が必要だ。/検討
が必要である。



	そう いてん 相違点	にちじょうかいわ ひょうげん 日常会話でよく使う表現	がくじょうてきぶんしりょう 学術的文章でよく使う表現
1	どうし 動詞 (V) の 連用接続	Vて、 Vなくて/Vないで、 Vていて、 Vていなくて、	
2	しゅうじょし 終助詞「か」を 使った発問	(ん) ですか ますか	
3	その他の 終助詞	ね、よ、わ、さ、etc. かな、かしら	
4	せつぞくじょし 接続助詞	けど、けれども たら	
5	せつぞくし 接続詞	だから、ですから でも、だけど	

6	ふくし 副詞	だいたい とても だんだん、
7	ぎもんひょうげん 疑問表現	どんな
8	しじひょうげん 指示表現	こんな
9	しよくけい 縮約形	じゃ Vてる
10	その他	わご 和語 けいご 敬語



練習

1. 高齢人口がだんだん増加してきた。
 2. 世界中でたくさんの人がインターネットを利用している。
 3. 月の直径は地球のだいたい4分の1である。
 4. この病気の原因は、まだ解明されていない。
 5. 今年度は昨年度よりもっと売り上げが伸びた。
-
1. 人間はどうして夢を見るんですか。
 2. どっちが正しいのかな。
 3. アンケート調査をやって、その結果を分析しましょう。
 4. 森先生はこんなふうにおっしゃっていますけど、どうですか。





2. 課題の提示

・クイズ



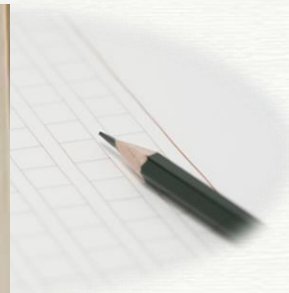
下のa～cのことを述べているのは、1～4のどの文ですか。また、{ }の中で、最も適切な語句はどれですか。

1 雪の多い地方では、毎年、除雪に多くの費用がかかる。2 また、除雪にかかる労力も多大なものである。3 この問題を解決する { ときに ように }、雪の有効な利用法を考
えなければならない。4 { その結果 そこで }、北海道のNさんは、雪をためて夏の冷房に
使う「雪冷房」マンションを考案した。

a. 何が問題か

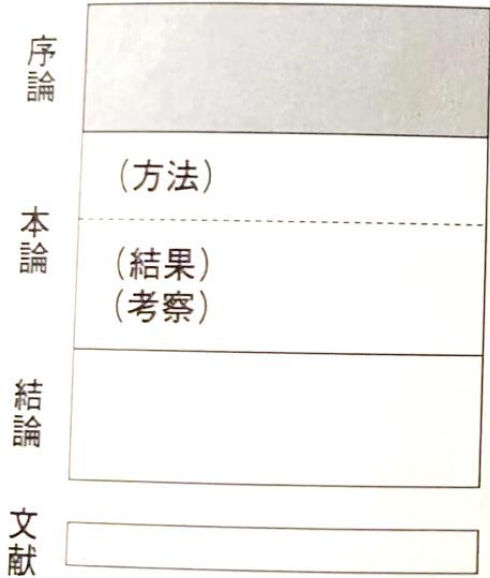
b. 何が必要か

c. 何をしたか





序論の構成要素



- a. 研究テーマの^{せつめい}説明
 - b. 課題の^{ていじ}提示
 - b1. 問題の^{してき}指摘
 - b2. 論点の^{ろんてん}提示
 - c. 問題解決の^{かいけつ}必要^{ひつようじょうけん}条件の提示
 - d. 先行研究の^{せんこう}紹介^{しょうかい}
 - e. 先行研究の問題点の指摘
 - f. 研究目的の^{もくてき}提示
 - g1. 研究行動の^{こうどう}提示
 - g2. 研究行動の^{かくにん}確認
- g. 研究行動の^{きじゆつ}記述





問題の指摘



1. ~Nが問題になっている。
2. ~Nの/Aという/Vという問題が生じている。
深刻化している。





問題解決の必要条件の提示



1. ~V/Nのためには、V/Nの必要がある。
が必要である。

〔例1〕日本語のコースを受講するためには、レベル分けの試験を受けなければなら
ない。

〔例2〕学校の完全週休2日制の実現のためには、学習項目を減らす必要がある。

〔例3〕どんな職業でも、成功するには、努力と運が必要である。



研究行動の提示

1. 本研究では、～Nについて検討した/考察した。
2. 本研究では、～Nについての検討/考察/調査/分析/解析を行った/試みた。



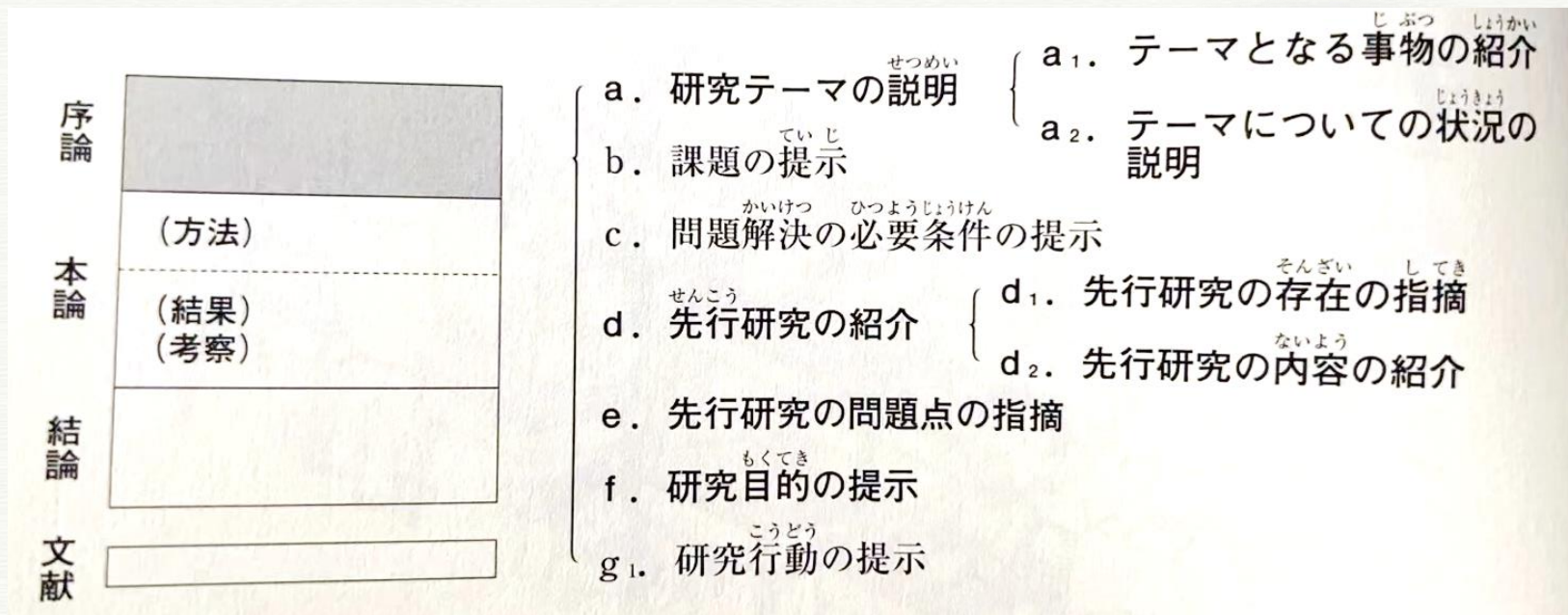
1) 近年、大学生の勉強意欲の低下が問題になっている。授業中に話をしたり、教室から出て行ったりする学生が増えている。意欲的な学生を伸ばす_____、学生の意欲や能力にあわせたクラスを用意する_____、K大学では、意欲的な学生のための少人数クラスと、適当に勉強したい学生のための多人数クラスを作り、学生に選ばせることにした。 []

2) 最近、会話の中でハーフ・クエスチョンを用いる人が増えている。ハーフ・クエスチョンは質問でもないのに語尾を上げて話すことである。このハーフ・クエスチョンを多用した新しい話し方は、若者だけに見られるもの_____。また、なぜこうした話し方が増えているの_____。本報告_____、ハーフ・クエスチョンの使われ方と使用者の意識_____考察する。 []

3) 新薬Pは胃ガンの治療に効果があると期待されているが、多くの副作用もある。副作用をできるだけ軽減する_____、病状に応じた使用法を検討_____。本研究_____、マウスを用いた実験を_____、Pの適正な使用法について検討_____。 []



3. 目的の提示





研究テーマの説明



1. NはNである。
2. NにNがある。
3. 最近/近年、Vである。
4. N/Vにつれて/にともなって、Vている。
5. ~た。

* ^{ぶんけん}文献 (literature/documents) をあつかう研究でよく使われる。

〔例〕 ^{なつめ そうせき} 夏目漱石の ^{しょうせつ} 小説『こころ』に ^{じょじゆつ} 次のような 叙述がある。

〔例〕 ^{けんぽう} 日本国憲法第 ^{じゅう} 15条に ^{きじゆつ} 次の 記述がある。

* ^{れきし}歴史的な研究でよく使われる。

〔例〕 ^{めいじ} 明治10年(1877)、日本で初めての ^{まんがざっし} 漫画雑誌 ^{はっこう} が 発行された。



先行研究の紹介

- ・…… N については多くの 研究／研究成果／報告／考察 がある。(d₁)
- ・…… N については多くの 研究／調査／実験 が行われている。(d₁)
- ・…… N については…… V / A と 言われている／されている。(d₂)
- ・…… N については…… N / V こと / A こと が 報告されている／示されている。(d₂)
- ・ [人名／機関名] の 研究／考察／検討／調査／実験 で／によって、* …… N / V こと / A こと が わかった／わかっている／明らかになった／明らかになっている。(d₂)

* 「によって」と「によれば／によると」は使い方が違う。

〔例〕 総務省の調査によって、失業率が上がっていることがわかった。

〔例〕 総務省の調査によれば／によると、失業率が上がっている。



先行研究の問題点の指摘



1. ~についての研究は少ない/ほとんどない/ない。
2. ~についての研究は行われていない。
3. ~については解明されていない。
4. ~については十分に解明されているとは言えない。

例1 日本におけるハイテク犯罪についての研究は極めて少ない。

例2 一般住宅についての検討は十分に行われているとは言えない。

例3 この時代の庶民の娯楽方法についての研究はほとんどなされていない。

例4 子どもの言語習得のプロセスは必ずしも十分に解明されているとは言えない。



研究目的の提示



1. 本研究の目的は～N/Vことである。
2. ～N/Vことが本研究の目的である。
3. 本研究の目的は～N/Vことにある。
4. 本研究は～N/Vことを目的とする/目的としている。
5. 本研究は～N/Vことを目的とするものである。

例1 明治初期における国語教育の実態を明らかにすることが本稿のねらいである。

例2 本研究は子供の第二言語習得のプロセスの解明をめざすものである。

例3 本研究では、文化による価値観の違いを明らかにするために、10カ国の大学生を対象としてアンケート調査を行った。

例4 本研究はエルニーニョ発生の原因を究明しようとするものである。

テーマ：『ペアの社会空間』

展開パターン：研究テーマの説明→先行研究の紹介→（しかし）→先行研究の問題点の指摘→研究目的の提示

他人が近づいたときのペアの行動を調べるために、実験を行った。実験者は、歩道を歩いているペアを見つけて、二人の間を通り抜けようとして近づいた。そして、ペアがどんな行動をするか観察した。

その結果、すべてのペアの61%に、実験者が二人の間を通るのを避けようとする行動が見られた。すなわち、二人が左右に分かれてその間を通らせるのではなく、二人並んで左右のいずれかに移動したのである。こうした回避行動は、男女ペアの83%、女性ペアの62%、男性ペアの38%に観察された。

この実験結果から、男女のペアの作る社会空間が最も強固であり、女性同士、男性同士となるにしたがって壊れやすくなることがわかる。

（渋谷昌三『人と人の快適距離』日本放送出版協会より）



4. 定義と分類

1. ~Nを~Nと定義する。
2. ~Nは~Nと定義される。
3. ~Nは/とは~Nである。
4. ~Nは~、
5. ~Nには~

2) 産業は、第一次産業、第二次産業、第三次産業の三種類に_____。このうち、第一次産業は農林漁業であり、第二次産業は鉱業、建設業、製造業である。第三次産業は、サービスを提供することにより対価を受け取る産業を_____、日本標準産業分類では、①電気・ガス・熱供給・水道業、②運輸・通信業、③卸売・小売・飲食業、④金融・保険業、⑤不動産業、⑥サービス業、⑦公務、⑧分類不能の産業に_____。以下、この第三次産業のうち、特に近年増加しつつある⑧分類不能の産業を_____、その現状分析を_____。



5. 図表の提示

序論	
	(方法)
本論	(結果) (考察)
結論	
文献	

1. 図表の提示

m. 図表のデータの説明

n. 判明事項の指摘

- m₁. 数値の大きさの表示
- m₂. 数値の大きさの評価
- m₃. 変化の形容
- m₄. 変化の進行の指摘
- m₅. 対比
- m₆. 比較

1. 図1に～Nを示す。
2. 図1は～Nを示したものである。
3. ～に満たない。/～に達しない。
～を越えている。
約～/ほぼ～/およそ～。
～にすぎない/～にとどまる。
～にのぼる/～に達する。

表1を参考に、次の空欄に適切な語句を入れて、文を完成させなさい。

- 1) 表1は文部科学省が2001年度に_____学校基本調査の結果を_____。
- 2) 大学への進学率は39.9%_____。また、大学院進学率も10%_____。これらはいずれも過去最高の数値を示している。
- 3) 一方、就職率_____見ると、高卒者（高等学校を卒業した人）では18.4%_____、過去最低となっている。大卒者では57.3%と前年度よりは上昇しているが、依然として厳しい状況が続いている。

表1 学校基本調査の結果

調査項目		2001年度調査結果	前年度比	備考
進学率	大学進学率	39.9 %	0.2ポイント増	過去最高
	大学院進学率	10.8 %	0.1ポイント増	過去最高
就職率	高卒者就職率	18.4 %	0.2ポイント減	過去最低
	大卒者就職率	57.3 %	1.5ポイント増	

(文部科学省調べ)



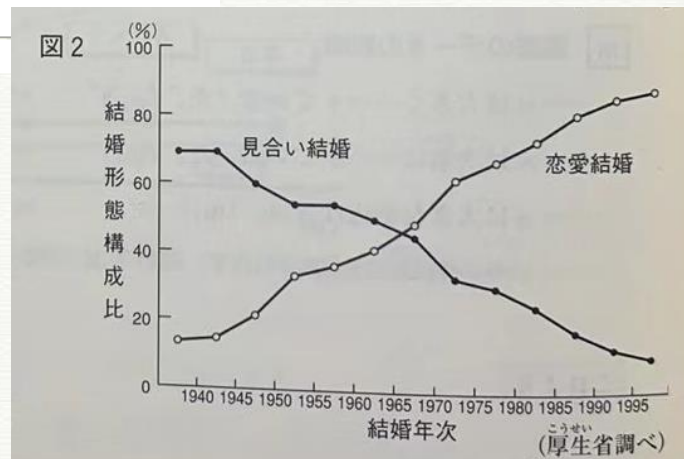
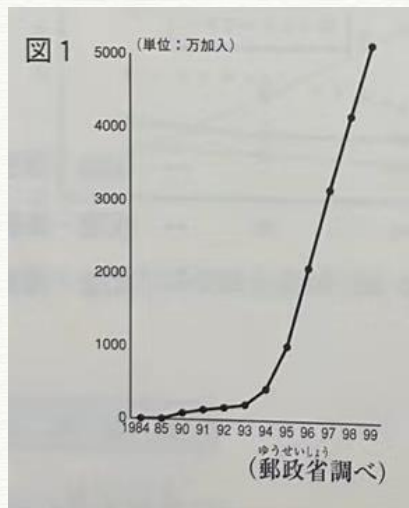
6. 変化の形容

1. ~Nは大きく~Vている/た。
2. ~Nは次第に~Vている/た。
3. ~Nに大きな変化はない。
4. ~Vつつある。
5. ~Nであること/Vこと/Aことがわかる/明らかである。

1) 図1 _____ 携帯電話の契約数の推移を示している。携帯電話は1984年頃から使われ始め、その後10年の間に _____ 使用者が増えた。1994年からは _____ 契約数が伸びている。 []

2) 携帯電話の契約数の推移を図1に _____。同図 _____ 明らかなように、近年、携帯電話は急速に普及している。 []

3) 図2に結婚形態の構成比の推移を示す。第二次大戦前に全体の約70%を占めていた見合い結婚は戦後大きく減少し、20世紀末には、ほぼ90%が恋愛結婚となっている。 _____、戦後結婚の形態が大きく変わった _____。





7. 対比と比較

m 図表のデータの説明

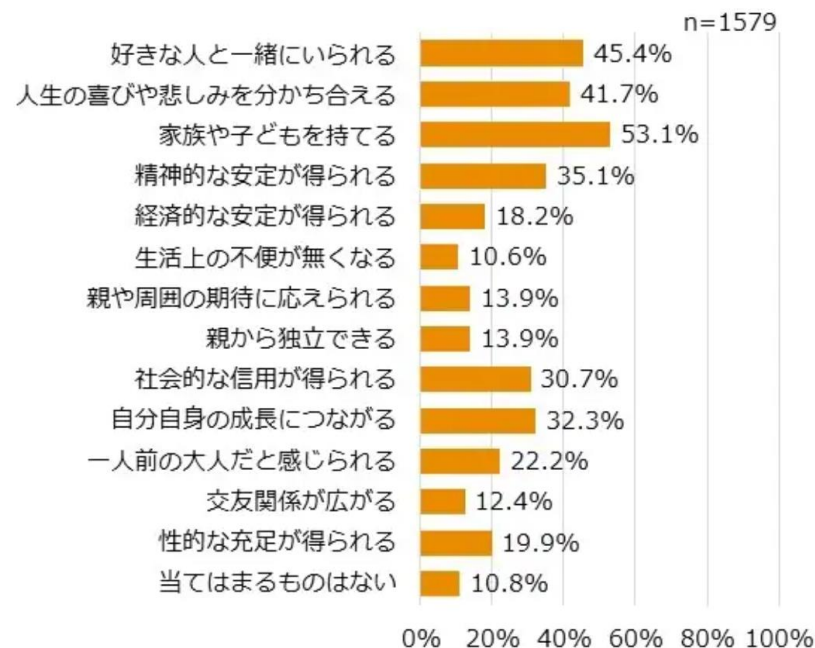
- ・ Aは……Nである/V/A。一方、Bは……Nである/V/A。(m₅)
- ・ Aが……Nである/Nな/V/Aのに対し、Bは……Nである/V/A。(m₅)
→ 文型・語法
- ・ AはBより……。 (m₆)
- ・ AはBを上回っている。(m₆)
- ・ ……Nの中で、Aが最も……。

n 判明事項の指摘

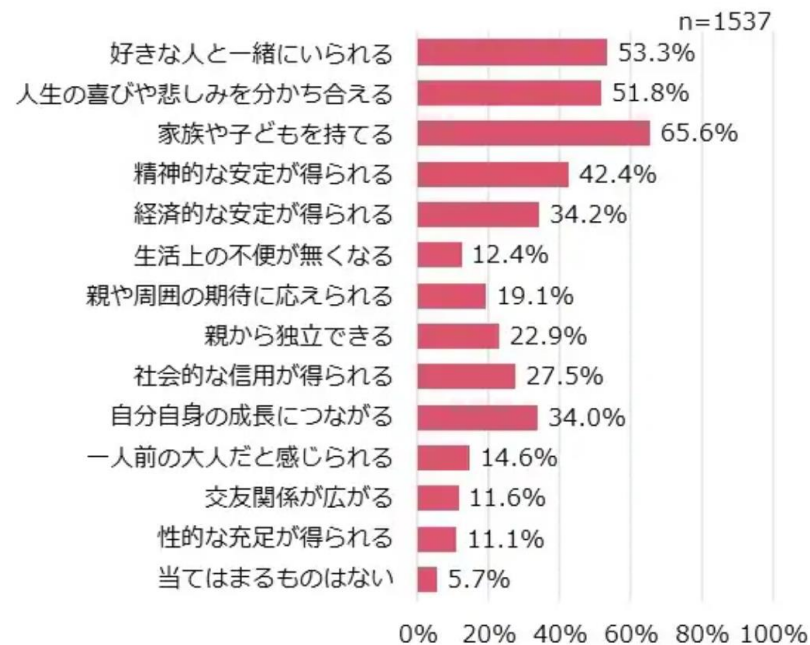
- ・ 図Aから、……Nであること/Vこと/Aこと が わかる/明らかである。
- ・ 図Aから わかるように、/明らかのように ……Nである/V/A。
- ・ 図Aが示しているように、……Nである/V/A。
→ 文型

図表8 結婚のよい点

男性



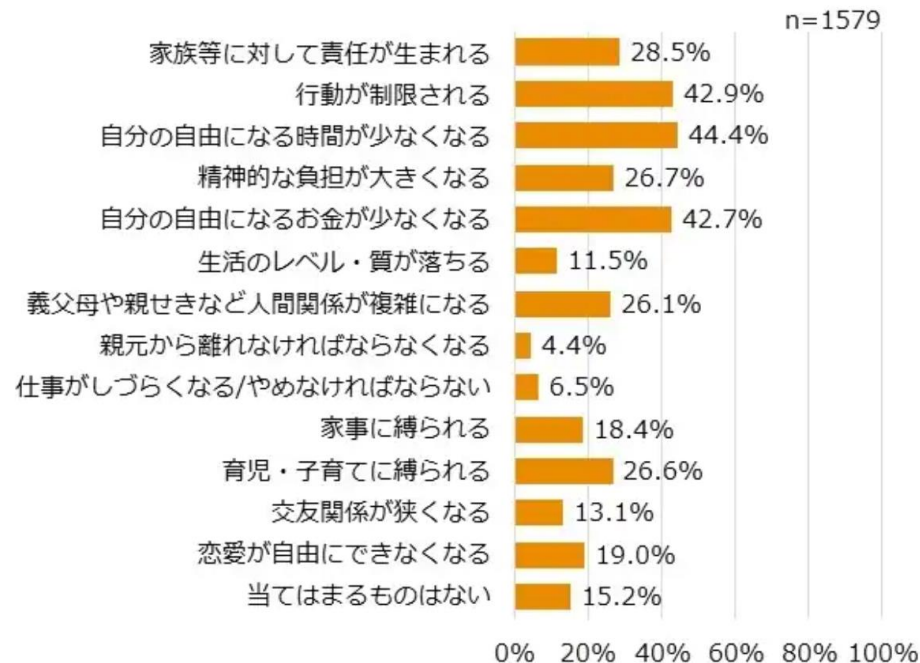
女性



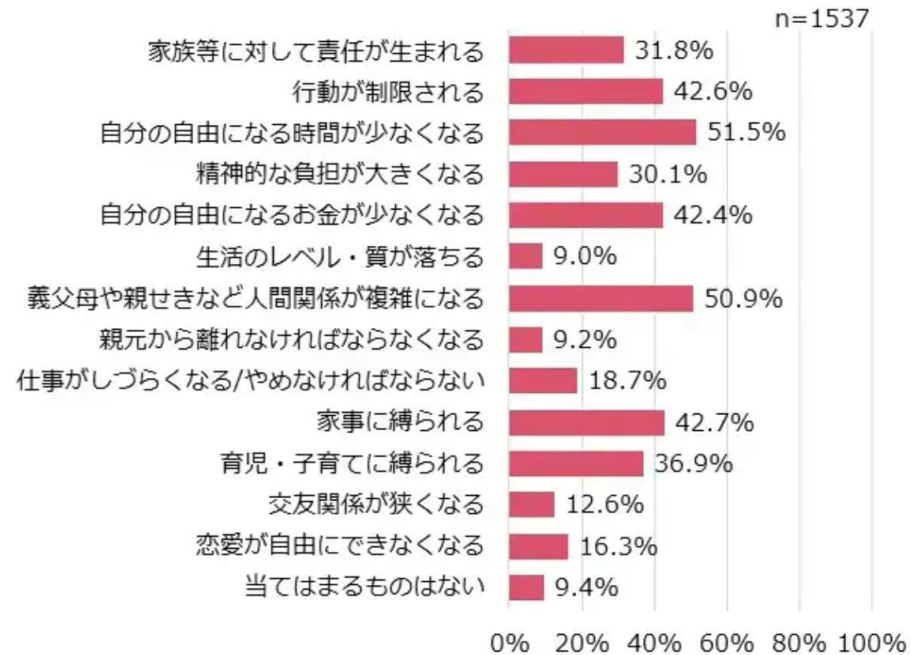
[【調査結果速報・第1弾】「結婚観」について | PwC Japanグループ](#)

図表9 結婚のよくない点

男性

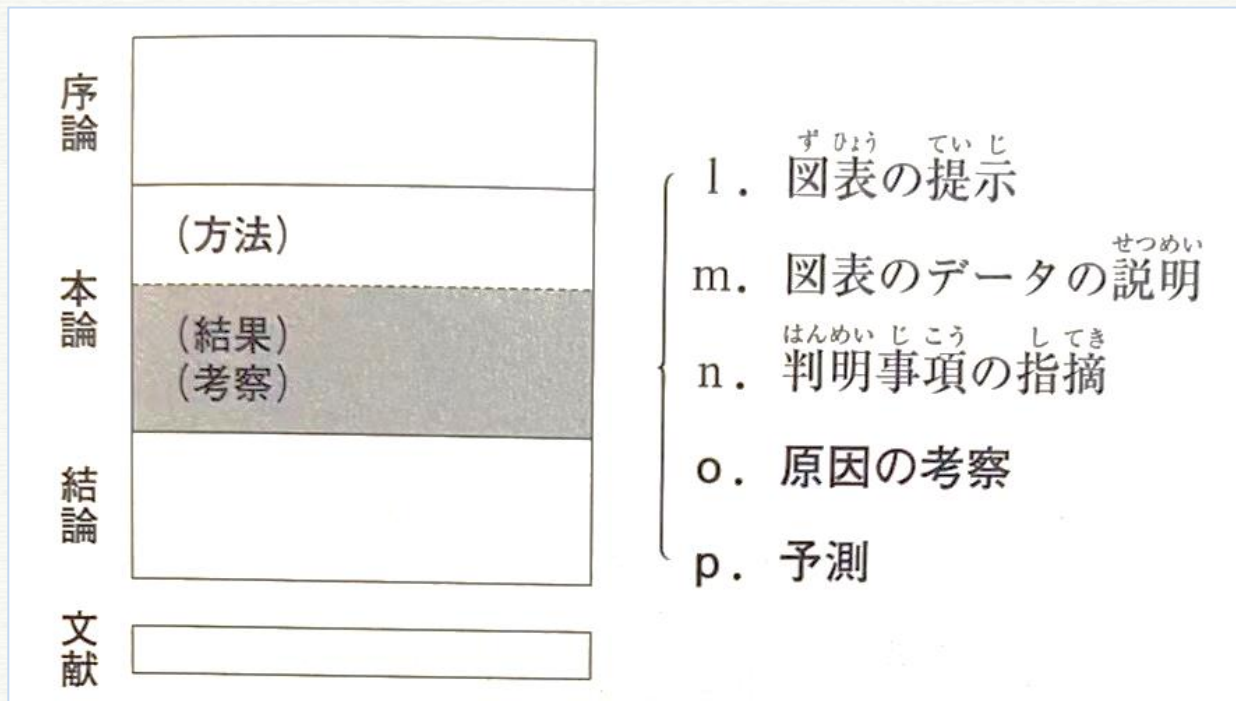


女性





8. 原因の考察





原因の考察



- ① — Nな/V/Aのは …… Nの/V/Aためである。
- ② …… Nの/V/Aため/ために —。
- ③ — Nな/V/Aのは …… N/Vこと/Aこと による。
- ④ — N は …… N/Vこと/Aこと による/によるものである。
- ⑤ …… N/Vこと/Aこと により/によって —。
- ⑥ — Nの/V/A^{げんいん}原因は …… N/Vこと/Aこと である/にある。
- ⑦ — Nの/V/A原因として …… N/Vこと/Aこと がある/があげられる。



原因の考察

- 例1 食料が不足しているのは異常気象のためである。
- 例2 食料不足は異常気象によるものである。
- 例3 異常気象によって食料が不足している。
- 例4 食料不足の原因として異常気象が挙げられる。
- 例5 異常気象のために食料が不足している。

- 例6 臓器のドナーが増えている背景には、死に対する人々の意識の変化がある。
- 例7 交通事故の多くは運転者の不注意に起因している。



原因の考察

……Vと 予測される/予想される。
……N/V.こと が 予測される/予想される

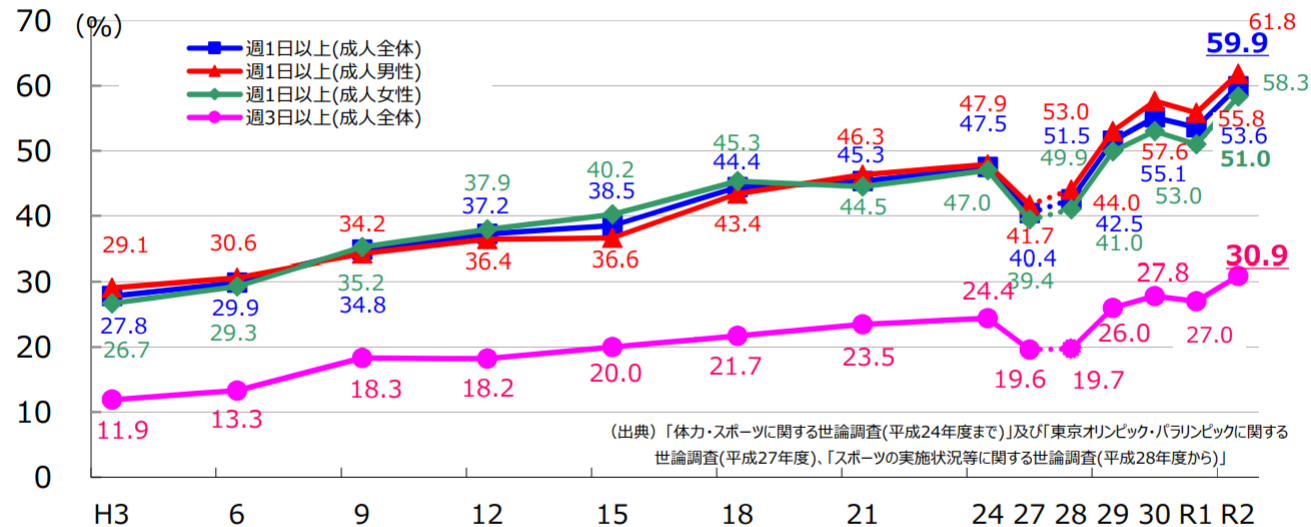
- 例1 失業率は急激に上がると予測される。
- 例2 失業率が急激に上がるのが予測される。
- 例3 失業率の急激な上昇が予測される。

- 例4 2050年には自動車の自動運転が普及すると予想される。
- 例5 鈴木は2050年には自動車の自動運転が普及すると予想している。
- 例6 2050年には自動車の自動運転が普及すると予想されている。

【参考】成人のスポーツ実施率の推移

※調査方法について

本調査は昭和54年度から概ね3年ごとに実施してきた「体力・スポーツに関する世論調査」（平成27年度のみ「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」）を踏襲するものであるが、調査方法に関しては平成28年度より調査員による個別面接聴取（標本数3,000人）から登録モニターを対象としたWEBアンケート調査（標本数20,000人）に変更している。



(出典) 「体力・スポーツに関する世論調査(平成24年度まで)」及び「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査(平成27年度)」、「スポーツの実施状況等に関する世論調査(平成28年度から)」

・「スポーツの実施状況等に関する世論調査」は、過去に実施した世論調査と直接比較評価できるものではないが、同様の質問項目については過去の数値を参考として併記できるものとして扱っている（このため、平成27年度と平成28年度の間は調査方法に変化があったことから点線としている。平成28年度と平成29年度以降では調査方法に変化はないため実線としている。）。

・各年度の調査における「この1年間に行った運動・スポーツの種目」については、スポーツの捉え方に関するその時々状況の踏まえ、例示を行っている。平成29年度以降においては、日常生活において気軽に取り組み始める身体活動を広く含むことを認識してもらうため、平成28年度の種目に対し、「階段昇降」、「ウォーキング」の例示として「一駅歩き」、「自転車」の例示として「BMX」、「エアロピクス・ヨガ」に「バレエ・ピラティス」を追加する等の見直しを行った。

Q19. 1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度が減ったまたはこれ以上増やせない(増やさない)理由

(%)

	全体	男性							女性						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体	17,393	207	1,061	1,345	1,739	1,453	1,516	1,329	212	1,084	1,289	1,660	1,435	1,555	1,508
仕事や家事が忙しいから	39.9	42.0	54.9	59.9	55.1	44.4	23.9	7.9	37.3	57.0	60.4	49.1	39.4	24.2	11.3
面倒くさいから	26.4	23.2	24.2	23.6	24.1	25.7	22.4	15.3	38.2	40.7	36.2	38.6	30.5	23.3	13.9
年をとったから	23.6	5.8	8.0	12.7	19.5	26.6	38.0	53.0	2.8	6.5	9.2	16.9	20.8	28.4	40.9
コロナウィルス感染症対策による日常生活の変化	18.1	15.9	13.2	14.6	13.0	15.4	19.0	22.2	16.5	14.8	14.5	16.0	20.8	24.6	28.1
お金に余裕がないから	13.9	12.6	17.3	15.5	13.8	12.6	10.9	9.0	12.7	20.9	19.0	18.6	17.1	10.0	5.4
子どもに手がかかるから	9.8	2.4	9.5	22.1	12.4	2.5	0.6	0.6	1.4	18.2	38.6	16.9	2.7	0.5	0.4
場所や施設がないから	9.8	20.8	14.9	11.8	9.0	8.1	8.9	6.8	21.2	15.8	11.0	9.3	8.9	8.1	5.2
運動・スポーツが嫌いだから	9.7	8.2	5.6	6.1	6.2	6.7	5.4	4.7	16.5	14.4	14.6	16.9	13.9	12.3	8.7
病気やけがをしているから	8.5	6.8	5.1	6.5	6.6	9.2	10.0	12.8	3.8	3.7	6.5	7.3	9.8	10.1	13.2
仲間がいないから	8.4	20.8	15.2	9.7	8.5	7.3	8.0	7.0	14.2	14.8	8.2	7.7	5.8	6.0	4.4
生活や仕事で体を動かしているから	8.1	6.8	5.5	5.9	6.2	6.6	8.5	8.3	8.0	7.0	7.1	8.0	12.1	10.8	10.3
運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	6.4	15.5	10.4	8.2	5.8	4.7	4.0	5.0	14.2	10.7	6.4	6.2	5.4	4.4	5.7
指導者がいないから	2.2	6.3	3.4	2.8	2.1	1.9	2.0	1.7	4.2	3.0	2.2	2.1	1.3	1.9	1.7
その他	2.2	3.4	1.1	1.0	0.9	1.9	2.8	3.2	1.9	3.1	2.6	1.7	2.2	2.9	3.4
特に理由はない	13.7	12.6	10.0	10.0	14.8	14.9	17.9	19.4	12.3	6.5	6.1	9.5	13.6	19.0	18.9
わからない	2.2	2.4	2.8	2.5	2.3	2.8	2.7	2.1	3.3	1.3	1.6	2.4	2.2	1.7	1.7



9. 列挙

q そんざい してき 存在の指摘

- ・…… Nは～つある。*
 - ・～つの…… Nがある。
 - ・…… Nとして～つのことが ある／あげられる（挙げられる）／考えられる。
 - ・…… Nをあげれば（挙げれば）～つある。
- * 「～」には数字が入る。以下同じ。

r れつきよ 列挙

- ・一つは…… N / Vこと / Aことである。もう一つは…… N / Vこと / Aことである。
- ・第一は…… N / Vこと / Aことである。第二は…… N / Vこと / Aことである。
- ・第一に、……。第二に、……。
- ・まず、……。また、……。さらに、……。

→ 文型・表現24、





列挙



1) 論文の書き方 _____ 三つの原則がある。第一 _____、序論で提示した課題に対して、解答が示されなければならない。問いと答えがあることが論文の条件である。第二 _____、考察においては、他者の見解と自己の見解を明確に区別して書く必要がある。引用のルールをきちんと守ることが重要である。第三 _____、つねに客観的に書くことを心がけるべきである。特に、自己の見解を述べる際には、客観性のある根拠を示さなければ、読者に十分理解してもらうことはできない。



列举

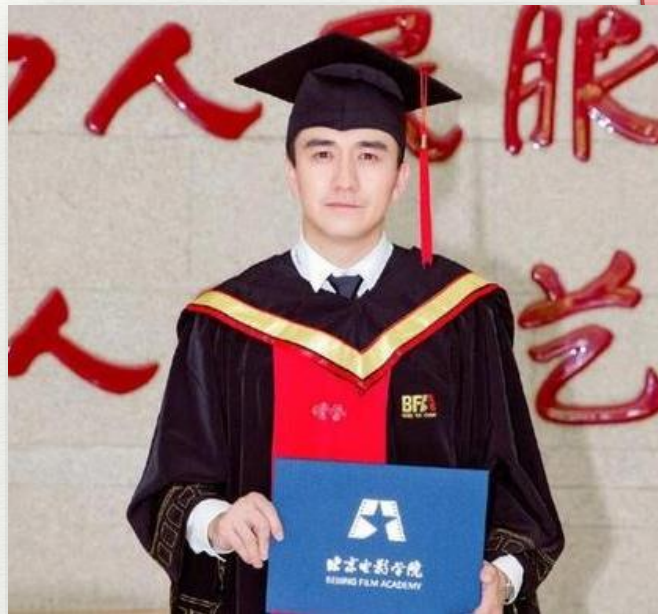
- 2) 若い女性の喫煙率が上昇している原因は二つ_____と考えられる。一つはタバコを吸う女性は女らしくないという差別意識が薄れつつある_____。
_____一つは喫煙がダイエットにいいと思われている_____。
- 3) よい研究者の条件をあげれば、_____, 頭がやわらかいことである。すなわち、固定観念にとらわれず、自由な発想ができるということである。また、物事を客観的に見られることである。_____, 根気強さも大切である。飽きっぽい性格の人には、大量の資料を集めることも、長期間にわたる実験を行うことも、膨大なデータを処理することも困難であろう。そして、もう一つ_____
_____, 楽観的であることが望ましい。根拠のない自信というものが、時として大きな発見につながることもある。



10. 引用



小保方晴子



翟天临

研究不正

STAP細胞に関する研究不正(2014)

- ・ Nature誌発表の論文に不正（捏造、改ざん）
Nature誌→論文撤回
理化学研究所→懲戒解雇
- ・ 博士論文についても不正確認
早稲田大学→学位取消

STAP細胞の報道：

https://www.bilibili.com/video/BV1Cx411q72b/?spm_id_from=333.788.videocard.0

東大研究不正：

https://www.bilibili.com/video/BV1zW411T7Wn/?spm_id_from=333.788.videocard.0

翟天临事件报道：

<https://www.bilibili.com/video/BV1Ab411m76x?from=search&seid=6363508869690472012>

学術的文章には“引用”が基本



- 学術的文章：過去の知的成果を踏まえて自分の論を展開するもの
- 引用の役割：引用により、
 - ①信頼性を保証し説得力を高める
 - ②過去の成果に対し新しい知見を加えたことを示す

ルールに沿った引用の方法

1. 主従関係
2. 出所明示
3. 明瞭区別性



1. 主従関係

- 自分の文章が「主」、引用されている文章が「従」であり、文章全体として自分の主張・見解を述べているのでなければならない。

- 自分の論を補強する
- 自分の論と反対の意見を示し反論する
- 自分の論の具体例を示す etc.

2. 出所明示

- **盗用**（他人の文章を自分のもののように発表する）は重大な研究不正行為
- **読者への情報提供**：引用箇所を原文にさかのぼって確認できるようにする
- 引用に当たっては**信頼できる情報源**を出所とすべき：基本は論文・学術書などの「学術的文章」
- ネット上の情報取り扱いには注意



- **孫引き**は可能な限り避ける：できるだけ**元の情報**をたどって引用する



×: (Aを確認せずに)「Aでは~~~~」

△: 「Bによると、Aでは~~~~」

○: (Aを確認して)「Aでは~~~~」

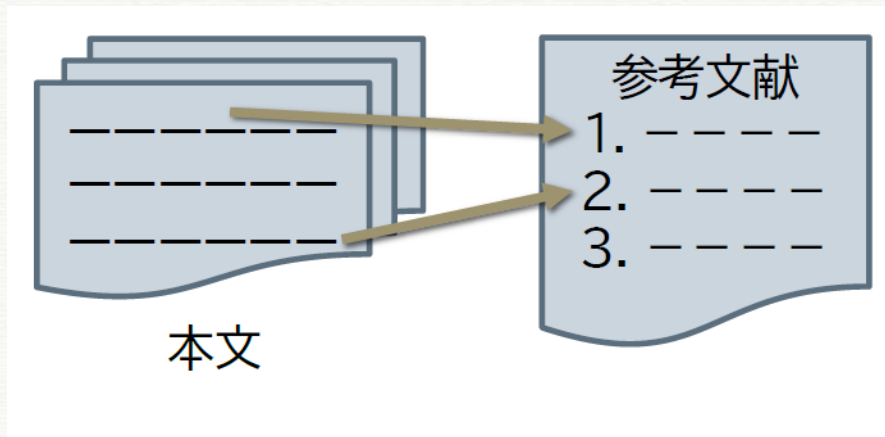
出典の示し方

- 読んだ文献全てを参考文献として挙げる必要はない
- **参考文献**リストを文章の末尾につける
 - ハーバード方式
 - バンクーバー方式

△世界大百科事典¹⁾によるとアメリカ南北戦争は1861年に勃発し…

無くてよい

歴史的事実や常識
どこで調べても同じようなこと



ハーバード方式 (著者年方式)

Harvard referencing system

(本文)

一方, 高田(2014)は, サークル集団における組織コミットメント研究(橋爪他, 1994 ; 高木, 2007)を参考にしつつも, …

(文献)

アルファベット順・五十音順

高木浩人(2007). 大学生の組織帰属意識と充実感の関係(2)—組織による差異の検討— 愛知学院大学心身科学部紀要, 3, 47-54.

高田治樹(2014). 大学生サークル集団への態度の探索的検討—否定的態度を含めた態度パターンの分類— 青年心理学研究, 26, 29-46.

橋爪裕子・佐藤裕・高木修(1994). サークル集団帰属意識の研究 (1)—サークルに対して抱く魅力と帰属意識— 日本社会心理学会第35回大会発表論文集, 208-209.

高田治樹・松井豊(2017). 大学生サークル集団への態度尺度の改訂および尺度構造の検討 筑波大学

バンクーバー方式 (番号でリンク)

Vancouver referencing system

(本文)

一方、高田¹⁾は、サークル集団における組織コミットメント研究^{2) 3)}を参考にしつつも、…

(文献)

引用順

- 1) 高田治樹. 大学生サークル集団への態度の探索的検討—否定的態度を含めた態度パターンの分類—. 青年心理学研究. 2014, 26, p. 29-46.
- 2) 高木浩人. 大学生の組織帰属意識と充実感の関係(2)—組織による差異の検討—. 愛知学院大学心身科学部紀要. 2007, 3, p. 47-54.
- 3) 橋爪裕子・佐藤裕・高木修. サークル集団帰属意識の研究(1)—サークルに対して抱く魅力と帰属意識—. 日本社会心理学会第35回大会発表論文集, 1994, p. 208-209.

3. 区別明瞭性

- どこからどこまでが引用かはっきり分かるようにする
- 直接引用の引用部分を勝手に改変してはいけない



クイズ：

引用が正しくないのはどれでしょうか。

- a. 亀井は精神的老衰をおそれなければならないと述べている。
- b. 亀井は精神的老衰をおそれるべきだと述べている。
- c. 亀井は「精神的老衰をおそれなければならない」と述べている。
- d. 亀井は「精神的老衰をおそれるべきだ」と述べている。
- e. 亀井は「精神的老衰」をおそれるべきだと述べている。

精神的老衰をおそれなければならない。真の長命とは、未解決の問題を背負って生きぬいてゆくことである。自己満足は精神の最大の敵である。

——亀井勝一郎『黄金の言葉』（大和書房），1963

直接引用の仕方： 引用部が短い場合

- 「」で引用文を括る
- 出典を示す

[1] 著者の名字（発行年）は「引用文（ページ）」と述べている。

例 7

平田（1999）は、「日本語では、ほめ言葉を軽減する傾向が強い（p.45）」という。

[2] 著者の名字（発行年）によると「引用文（ページ）」という。

例 8

平田（1999）によると、「日本語では、ほめ言葉を軽減する傾向が強い（p.45）」という。

[3] ……「引用文（著者の名字 発行年，ページ）」……。

例 9

ほめ言葉に対する返答を工夫することで「相手との関係を確率。強化する、もしくは円滑にすることができる（平田 1999, p.45）」のである。

直接引用の仕方： 引用部が長い場合

- 引用部を改行して、2字分下げる
- 出典を示す

【1】 改行し、二字分下げる

例 10

日本語教育における言語行動の扱いに関しては、

語用に関しては、日本語教育現場で軽視されがちだが、誤れば文法上でおかす間違いよりも影響が大きく、人間関係を壊す原因にもなり得る。言語教育において、目標言語がどのように使われているかを重視した教育が、今後より一層進められていることが予想される。(平田 1999, p.45)

という意見がある。

【2】 引用部のフォントを小さくする

例 11

日本語教育における言語行動の扱いに関して、平田（1999）は、

語用に関しては、日本語教育現場で軽視されがちだが、誤れば文法上でおかす間違いよりも影響が大きく、人間関係を壊す原因にもなり得る。言語教育において、目標言語がどのように使われているかを重視した教育が、今後より一層進められていることが予想される。(p.45)

と述べている。

【3】 引用部の一部を省略する場合

省略した箇所に、(中略)と表示します。省略しても原文の意図を損ねることにならないように注意しましょう。

例 12

日本語教育における言語行動の扱いに関して、平田（1999）は、「語用に関しては、日本語教育現場で軽視されがちだが、(中略)言語教育において、目標言語がどのように使われているかを重視した教育が、今後より一層進められていることが予想される。(p.45)」と述べている。

直接引用の仕方： インターネットから の引用

- アクセス日を明記する
- URLを記載する

[1] 出典とホームページ名・URL の他、アクセス日を明記する。

例 13 「文化庁による報告(表 1)によると、平成 24 年 11 月現在の国内の日本語教育学習者は 13 万 9,613 人である。」

表 1 平成 24 年現在の日本語教育の現状

	機関・施設等数	教師数	学習者数
大学等機関	525	5,320	44,104
地方公共団体・教育委員会	294	4,572	15,405
国際交流協会	331	11,043	17,476
上記以外	845	13,457	62,628
合計	1,995	34,392	139,613

文化庁、「平成 24 年国内の日本語教育の概要」

http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/jittaihouwa/h24/gaiyou.html

(アクセス日：2014 年 3 月 20 日)

[2] ホームページ上の写真(画像)を引用する場合にも出典情報を明記する。

例 14



「巖島神社公式ホームページ」

<http://www.miyajima-wch.jp/jp/itsukushima/index.html>

(アクセス日：2014 年 3 月 20 日)

間接引用 (要約) の仕方

- 自分と他人の意見を区別する
- 文の始まりと終わりを意識する

【1】著者の名字（発行年）によると、要約部（である）。

例 15 「平田（1999）によると、語用の誤りは文法上の誤りよりも影響が大きい。」

【2】著者の名字（発行年）は、要約部と【内容に合った述語（※）】。

※「指摘する」「分析している」「述べている」「予想している」など

例 16 「平田（1999）は、今後、言語教育において目標言語の使われかたを重視した教育が進められていくと予想している。」

【3】要約部。（著者の名字 発行年）

例 17 「語用は日本語教育現場で軽視されがちである。（平田 1999）」

? 平田（1999）によると、語用は日本語教育において軽視されているとし、その誤りは文法上の誤りよりも大きく、人間関係に影響すると指摘する。

日本の未成年者の自殺原因についての研究

日本厚生労働省が発表したデータによると、2019年一年間に自殺した人は前の年より減り、10年連続で減少し、過去最少になったことである。しかし、年齢別では20年代以上の各年代で減少したが、10年代は前の年より60人多い659人となり、過去20年で最も多くなった。

未成年者は国にとってとても重要な存在であり、国の未来の発展につながっている。したがって、未成年者に関する問題はずっと人の心にかかっている。全体的にいうと、日本の自殺率は下がる傾向にあるが、未成年者の自殺率は世界の中でも高水準の状態が続いている。その現状から見れば、未成年者の自殺問題が深刻化している。そこで、未成年者の自殺行為をできるだけ防止し、自殺対策を完備するためには、未成年者の自殺する主要な原因を究明する必要がある。本研究では、日本の未成年者が自殺する原因について検討する。

はじめに

本論文は『さゆり』という映画を参考にし、日本伝統文化と言われる芸妓文化から現れる日本人女性像について検討するものである。

17世紀頃、日本の東京と大阪に生まれた芸妓という職業は今まで300年の歴史もある。芸妓は美しい日本伝統文化として、人々に神秘的な印象を残した。従業者が主に女性である芸妓は道徳上に厳しい拘束があり、高い芸術の教養も要求され、日本人男性の幻想に完璧な女性と思われる。従って、芸妓文化から日本人理想的だと思ふ女性の陰を見つける。『さゆり』という世界でも有名な映画に芸妓という職業及びその文化が立派に現れた。外国人の視角から日本の女性を描き、神秘的な色彩が溢れる東洋文化を展示した。

本論文は、芸妓の追録を主な内容としての『さゆり』を参考対象とし、その中に現れる芸妓の仕事や生活を検討し、現実と対照して比べ、完璧と思われる日本人女性の形象や特徴及び思想などを検討する。

参考文献の示し方

[编号]·作者·书名（日语要用书名号『』）[参考文献类型]·出版单位·年份·版次·起止页码←

B. 参考文献是期刊，书写格式：←

[编号]·作者·文章题目[参考文献类型]·期刊名（（日语要用硬括号「」））·年份·卷号·期数·起止页码←

C. 论文参考文献类型，根据 GB-3469-83《文献类型与文献载体代码》规定，以单字母方式标识：M——专著，G——汇编，C——会议录，D——学位论文，N——报纸文章，J——期刊文章，R——研究报告，S——标准，P——专利，DB——数据库，其他未说明的文献用“Z”标识。←

D: 参考文献排序遵循先日文，后中文，各自按首字母排序（日本人名按日语读音的首字母，例如“山田”（YAMADA）首字母为“Y”）。←

【日本語】

・著者の姓の読み方で、五十音順に配列します。(あ・い・う・・・)

【欧文】

・著者の姓の文字で、アルファベット順に配列します。(A, B, C・・・)

【中国語】

・著者の姓の文字で、アルファベット順に配列します。(A, B, C・・・)

- 1) 難民の問題について、いどう だっしゅつ移動や脱出によって解決されるのではなく、その後もご けいぞく継続される問題である。
- 2) 難民の問題について、いどう だっしゅつ移動や脱出の後もあと継続される問題である。
- 3) _____、難民の問題は、移動や脱出の後も継続される問題である。

難民に関する問題は、したがって、移動や脱出によって解決されるのではなく、その後も継続される問題である。その意味で、難民の問題は、りゅうしゅつこく流出国だけではなく、うけい受入れ国にも問題をな投げかけていると言える。

—かわかみいく お えつきい川上郁雄「か ぞく越境する家族—ざいにち在日ベトナム人のネットワークと生活戦略—」『みんぞくがく民族学研究』63-4, 1999, p. 360



11. 同意と反論

b₂ 論点の提示^{ていじ}

- ・〔疑問表現〕…… (の) だろうか。
- ・〔疑問表現〕…… (の) かについて、……。

s 引用^{いんよう}

- ・〔著者名^{ちよしゃめい}〕は「-----」と述べている^の。
- ・〔著者名〕は-----と述べている。
- ・〔著者名／文献名^{ぶんけん}〕によれば、-----。
- ・-----と言われている。

t 同意／反論^{どうい はんろん}

- ・〔著者名〕が述べているように、-----。
- ・〔著者名〕の見解^{けんかい}には疑問^{ぎもん}がある。





12. 帰結

- a. 歩くことは健康によいと思われる。
- b. 歩くことは健康によいと考えられる。
- c. 歩くことは健康によいと考えられている。
- d. 歩くことは健康によいと言える。
- e. 歩くことは健康によいと言われる。
- f. 歩くことは健康によいと言われている。
- g. 歩くことは健康によいと言えよう。

Q1：筆者自身の見解を表す文はどれか？

Q2：そのうち、最も断定度の高いものはどれか？



帰結

- ① **このことから、……と 言える / 考えられる。**
- ② **したがって (従って)、……と 言える / 考えられる。**
- ③ **以上のことから、……と 言える / 考えられる。**

このことより
これより
この結果から

以上より
以上の結果から
以上述べた結果から

と思われる
と見られる
と推察される



帰結



換言の接続表現

すなわち
つまり
要するに
例えば

補足の接続表現

ただし
もっとも
なお
ちなみに



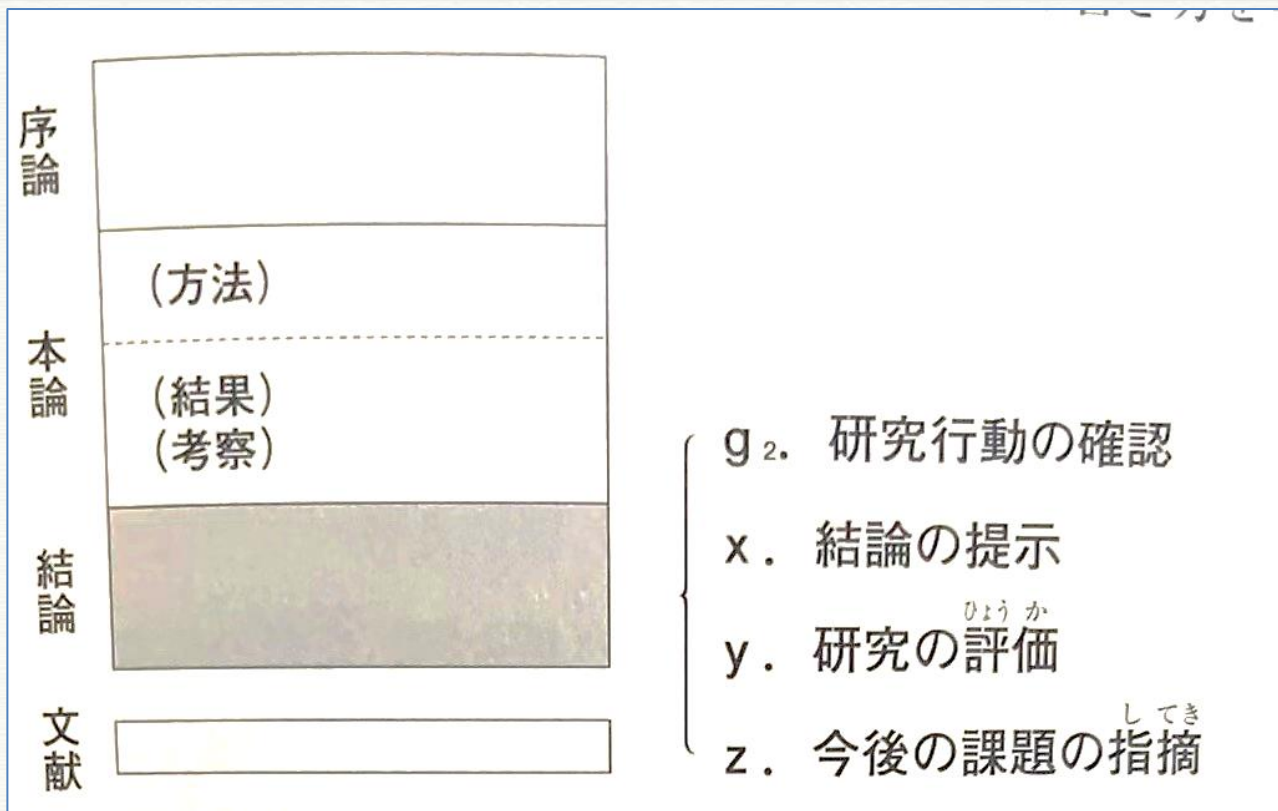
帰結



現代日本の高校生は、どれぐらい本を読んでいる____
____か。首都圏の高校生1000人を対象に読書
に関する調査を行った結果、1か月に1冊も本を読まな
い高校生が70%にのぼることが____。
____、高校生の活字離れの問題は深刻化して
いる____。____、本
を読まない高校生も、雑誌や漫画は読んでいるようだ。



13. 結論の提示





結論の提示

・ (以上、 / 本研究では、) …… N について ^{けんとう} 検討した / ^{こうさつ} 考察した。

・ …… N について 検討した / 考察した ^{けっか} 結果、

・ (…… V 的結果 * / …… により) …… V こと / A ことが ^{あき} 明らかになった /

^{しめ} 示さ ・ 本研究の意義は …… という点にある。

・ (…… V こと / A こと) …… V こと / A ことが ^{あき} 明らかになった / ^{あき} が導かれた。

・ 本研究では …… N / V ことはできなかった。

・ 今後の課題は …… N / V ことである。

(1) ・

・ …… N については、今後の課題としたい。

(2) ・

(3) ……



結論の提示



_____、首都圏の留学生の住宅事情について、実態調査および意識調査を行い、分析を試みた。

_____、首都圏の留学生の住宅環境は、日本人学生のそれに比べて様々な面で劣っており、留学生の不満も多い_____。今後の課題は、留学生の住宅環境の改善について各自治体や教育機関がどのような対策を取っているかを広く検討_____。

_____。